

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小川村桜ウィーク 2016
事業主体 (連絡先)	小川村桜ウィーク実行委員会 (026-269-2323)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,064,108 円 (うち支援金 : 1,438,000 円)

### 事業内容

商業振興につながる、特色ある観光地づくりを目指した桜ウィークの実施。夜桜まつりやスタンプラリーを実施するもの。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①来場者数 2,000 名の目標に対し、1,700 名の来場者数となった。目標は上回れなかったものの、昨年の入場者数 1,500 人を上回る結果となった。
- ②スタンプラリーの応募口数は 51 にとどまった。うち宿泊施設を含む口数は 12 で全体に占める割合は 2 割となり、目標の 1 割を上回る結果となった。宿泊者が観光し地域を潤すということに一役買った。
- ③スタンプラリー、チラシ持参サービス、夜桜まつり実施などで商業振興につながった。また、スタンプラリーの結果を分析することで次回においてさらに商業振興につながるデータを得ることができた。



【光のバルーン】

### 【目標・ねらい】

- ①来場者 2,000 名
- ②スタンプラリーの応募口数 2,000 に対し、宿泊施設を含む口数 200
- ③商業振興につながる観光地づくり

### ※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

数では目標を上回ることができなかった。しかし、商業振興につながる観光地づくりとしては一定の効果が見られ、データの収集など次につながる結果が得られた点で評価できるため。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

スタンプラリーをすることで得ることのできたデータを有効活用し観光事業を進めていきたい。春の観光客の動向を分析した結果、桜以外の観光地を周遊するというルートづくりが必要であると感じた。今回このスタンプラリーがそこに至るまでの結果とならなかったが、今後そのルートづくりにつながる事業を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある